

活動報告
「河越夜戦・東明寺から新河岸川堰堤」散策
……西武新宿線本川越駅から川越城本丸御殿……

2022-4-10

野老澤の歴史をたのしむ会
記 柴崎 善博

■開催日時 2022年4月7日(木) 10:00~12:15
■参加者 26名(男性18名・女性8名)

■はじめに

河越夜戦(1546年)はその後の毛利元就の厳島合戦(1555年)、織田信長の桶狭間合戦(1560年)とともに、日本三大奇襲戦と言われ歴史の転換期と言われていますが、あまり知られてないようです。今回 C グループの佐藤八郎さんよりこの機会に現地をみて合戦の状況を想像するのも意義あるのではとの提案で河越夜戦にかかる寺を中心に散策する運びとなりました。川越市のボランティアガイドの石山様より詳しい河越夜戦の解説をしていただきました。4月上旬ということもあり、新河岸川堰堤も桜が満開であり散策を楽しんで皆さん元気に全行程を踏破することができました。

■コース概要

西武新宿線本川越駅改札口 集合
⇒ 本川越駅 (バスに乗車) ⇒ 広済寺 ⇒ 東明寺 ⇒ 道灌橋 ⇒ 新河岸川堰堤
⇒ 川越氷川神社 ⇒ 川越本丸御殿(ここで解散)

■散策記録

□本川越駅広場(10:00集合)

当日は曇り空でしたが気温も高くなく、散策しやすい感じでした。出発前に「参加者名簿」「川越散策マップ」「河越夜戦資料」「所沢市史より河越夜戦資料」、ガイド石山様より「河越夜戦のしおり」をいただき配布、参加人員(26名 男18名 女8名)にて、マスク着用等コロナ対策を確認してからのバス(八幡団地行き)で出発です。

□広済寺…(10:30着)

喜多町のバス停で下車し傍の広済寺でガイドの石山様から河越夜戦の全容を説明していただいた。



廣濟寺鐘樓付近



激戦の東明寺口を核にした配置と戦闘を図示

□東明寺‥(10:45着)

北の新河岸川方面にしばらく歩くと東明寺に到着。川越夜戦跡の大きな石碑の前でガイドの石山様より当時の戦況を説明いただいた。北条氏の農民に優しい政策が川越地域の民の信頼を勝ち取っていたことが圧倒的有利な人数の上杉連合軍に勝利出来た要因のひとつだとのことでした。(城内北条勢3千人、上杉連合軍8万5千人)又、川越夜戦と河越夜戦と呼び名があるが当時の時代呼称より河越夜戦が正しいとのこと。



東明寺 夜戦の碑を囲んで

□道灌橋・・(11:20着)

東明寺の裏手に太田道灌の住居があったとのことで道灌橋と名付けられている。



□新河岸川を氷川神社に向かって散策(11:25~11:40)

桜が満開で少し花弁が散り始めていましたがとても眺めのいいところでした。



□氷川神社(11:40着)

今工事中の結婚式場は以前の結婚式場より小さくし、縁の杜をつくるようにするそうです。凄い！



□川越美術館、川越博物館前(11:50着)

ここでガイドの石山様より川越城の堀や城の概要の説明をいただきました。



□川越城本丸御殿(12:00着)

本丸御殿前で川越城についてガイドの石山様より御説明いただき、最後に佐藤八郎さんより今回の河越夜戦の補足として「所沢市史(上)P360～P365」と松本清張の「黒い空」も参考読むと更に今回の活動内容が充実する旨、お話をありました。ここで現地解散しました。



■おわりに

今回の「河越夜戦跡・東明寺と新河岸川堰堤散策」は、天候にも恵まれた良い陽よりでした。季節がら新河岸川堰堤散策時の桜並木は強く印象に残りました。現地解散後、徒步で本川越駅に向かう参加者が多く、夫々街中散歩をたのしんで過ごしたようです。
皆様のご協力有難うございました。

以上

担当 C グループ 佐藤八郎 佐野喜代子 柴崎善博